

## ステップ1

大項目	③言語の形成と活用
小項目	【1】他者の話を理解するために
タイトル	はんたいことばを覚えよう
目的 身につけてほしい力	言語イメージを広げる。
教材の概要	簡単な反対言葉を選びながら指導者とコミュニケーションをする。言葉を文字だけではなくイラストで補足し、言語イメージを広げる。
使用するもの	<p>・はんたいことばカード（イラストつき）</p> 
教材の使用方法	<p>&lt;言葉を覚える&gt;</p> <p>①指導者はカードを一枚ずつ提示しながら言葉を読み上げる。          ②児童生徒はカードを見ながら指導者に続いて発音する。          ★イメージが持てるように、イラストにも注目するよう促す。</p> <p>&lt;反対言葉のペアを覚える&gt;</p> <p>①反対語の組み合わせを提示して「ながいの反対はみじかい」というように反対の言葉をつづけて読み上げる。          ②児童生徒はカードを見ながら指導者に続いて発音する。</p>
その他	日常的によく使う簡単な言葉から取り組む。

## ステップ2

大項目	③言語の形成と活用
小項目	【1】他者の話を理解するために
タイトル	はんたいことば選び
目的 身につけてほしい力	言語イメージを広げる。
教材の概要	簡単な反対言葉を選びながら指導者とコミュニケーションをする。言葉を文字だけではなくイラストで補足し、言語イメージを広げる。
使用するもの	<p>・はんたいことばカード（イラストつきでA札・B札を区別する。）</p>  <p>←上をA札とする。</p> <p>←下をB札とする。</p>
教材の使用方法	<p>&lt;はんたいことば選び&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①はんたいことばカードB札を机の上に複数枚並べる。</li> <li>②指導者は、はんたいことばカードA札を一枚ずつ提示しながら言葉を読み上げる。</li> <li>③児童生徒は、B札の中から正しい組み合わせの一枚を指差して読み上げる。</li> <li>④正解ならカードを取る。</li> <li>⑤すべて正解してカードがなくなれば終わり。</li> </ol> <p>※A札とB札を入れ替えながら継続して取り組み、定着を目指す。</p> <p>応用&lt;はんたいことば神経衰弱&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①はんたいことばカードA札B札を机の上に裏返して並べる。</li> <li>②2枚ずつめくりペアならカードを取る。ペアにならなければ交代する。</li> <li>③カードがなくなったら終了。</li> </ol>
その他	<p>日常的によく使う簡単な言葉から取り組む。</p> <p>児童生徒はできる限り言葉を読み上げるように取り組む。</p>

### ステップ3

大項目	③言語の形成と活用
小項目	【1】他者の話を理解するために
タイトル	はんたいことばを聞き取ろう
目的 身につけてほしい力	言語イメージを広げる。
教材の概要	簡単な反対言葉を選びながら指導者とコミュニケーションをする。言葉を文字だけではなくイラストで補足し、言語イメージを広げる。
使用するもの	<p>・はんたいことばカード（イラストつきでA札・B札を区別する。）</p>  <p>←上をA札とする。</p> <p>←下をB札とする。</p>
教材の使用方法	<p>&lt;はんたいことばを聞き取ろう&gt;</p> <p>①はんたいことばカードA札とB札を机の上に複数枚並べる。</p> <p>②指導者は、机にある反対言葉をつかって文章を作って読み上げる。 「筆箱には長い鉛筆と短い鉛筆が入っています。」 「太郎君はしずかに勉強できるけど、にぎやかなクラスが好きです。」 「東京スカイツリーは東京タワーより高い」</p> <p>※反対言葉はペアで使ったり、片方だけを使ったりする。 ※イラスト以外の言葉も使って文章を作る。</p> <p>③児童生徒は、文章中に出てきた反対言葉を選び読み上げる。</p> <p>④正解ならカードを取る。</p> <p>⑤すべて正解してカードがなくなれば終わり。</p> <p>応用&lt;はんたいことばで文章作り&gt;</p> <p>机の上に並べたはんたいことばカードを使って文章を作る。 指導者と児童生徒が交互に行い、カードがなくなったら終了。 ※イラストにない言葉を使うなど応用ルールで行うのもよい。</p>
その他	日常的によく使う簡単な言葉から取り組む。